

## 美術部・情報資料部報

### 美術部・情報資料部所員異動

平成十年四月一日付で、情報資料部文献資料研究室長米倉迪夫は情報資料部長に昇任した。

平成十年四月一日付で、情報資料部写真資料研究室長鈴木廣之は情報資料部文献資料室長に配置換となった。

平成十年四月一日付で、美術部主任研究官島尾新は情報資料部写真資料研究室長に昇任した。

平成十年四月一日付で、情報資料部主任研究官長岡龍作は東北大学文学部助教に転任した。

平成十年四月一日付で、山種美術館学芸員塩谷純は美術部第二研究室研究員に採用された。

平成十一年一月一日付で、神奈川県立金沢文庫学芸員津田徹英は、情報資料部写真資料研究室研究員に採用された。

平成十一年三月三十一日付で、情報資料部写真資料研究室専門職員野久保昌良は定年退職した。

### 美術部・情報資料部公開学術講座

第三十二回公開学術講座を平成十年十月二十一日（水）午後、東京都美術館講堂において左記のとおり開催した。

中国文人文化への接近 — 入元僧以亨得謙と禅林の美術 — 井手 誠之輔  
大正末・昭和初期洋画の一傾向 — 朝鮮美術展・台湾美術展との関連から —

山梨 絵美子

美術部第二研究室の編集による「日本美術年鑑」平成九年版（平成八年一月〜十二月の記事）は平成十年四月に刊行された。

### 国際研究集会報告書の刊行

平成九年十二月に開催された第二十一回文化財の保存に関する国際研究集会「今、日本の美術史学をふりかえる」の報告書は、平成十一年三月に刊行された。

### 黒田清輝巡回展

昭和五十二年以来、毎年開催してきた黒田清輝巡回展を、平成十年度は十月十六日（金）から十一月二十九日（日）まで成羽町美術館において開催した。

### 研究会

平成十年度

四月 十五日 芝山・観音教寺所蔵「施餓鬼図」について 中野 照男

五月 二十七日 近代における屏風と金地表現 塩谷 純

近代日本画における点描法 古田 亮

— 今村紫紅を中心に —

六月 十七日 中国・明時代の仏伝図 井手 誠之輔

— 鹿児島県歴史資料センター黎明館本をめぐって —

七月 八日 東寺兜跋毘沙門天像 — 伝説の系譜 — 岡田 健

七月 二十二日 チベット仏教美術を訪ねて 中野 照男

九月 十六日 古賀春江と機械の眼 杉本 秀子

十一月 四日 視覚による勝利 — 日本近世初期物語絵画における日中関係の表象と 絵画メディアの役割 —

メラニー・トレデー

- 十一月十一日 一五世紀の親鸞聖人絵伝が教えてくれること 泉 万里
- 十二月十六日 雪舟筆「秋冬山水図」について 島尾 新
- 一月二十日 東福寺所蔵の肖像画について 山本英男
- 東福寺の明兆系作品について 福島恒徳
- 二月十七日 翻訳・紹介・感想 木村莊八 田中 淳
- 竹喬研究の課題と現状 上蘭四郎
- ―「竹喬」落款の変遷を中心として― 岡田 健
- 三月三日 四川省の仏教彫塑 安藤佳香
- 仏教莊嚴美術の構成要素に関する一提言 青井哲人
- 三月十日 建築史誕生から東洋建築史へ
- ―「法隆寺建築論」の二重性とその帰趨― 日本建築における近世と近代・史的立場と技術的立場の間 中谷礼仁
- 三月十七日 鑑真和上と仏像 井上一稔
- 三月二十四日 Symbol and Substance アン・ローズ・キタガワ
- ―アメリカで日本の漆工芸を紹介する―